

JANU

国立大学協会情報誌
Quarterly Report

August 2006

vol.5

国立大学の 地域貢献

◆OPINION

元文部科学大臣

遠山敦子氏

◆連載企画

支部通信

◆学生からのメッセージ

トリノオリンピックカーリング

「チーム青森」の一員

弘前大学・群馬大学(新メンバー)

目黒萌絵さん

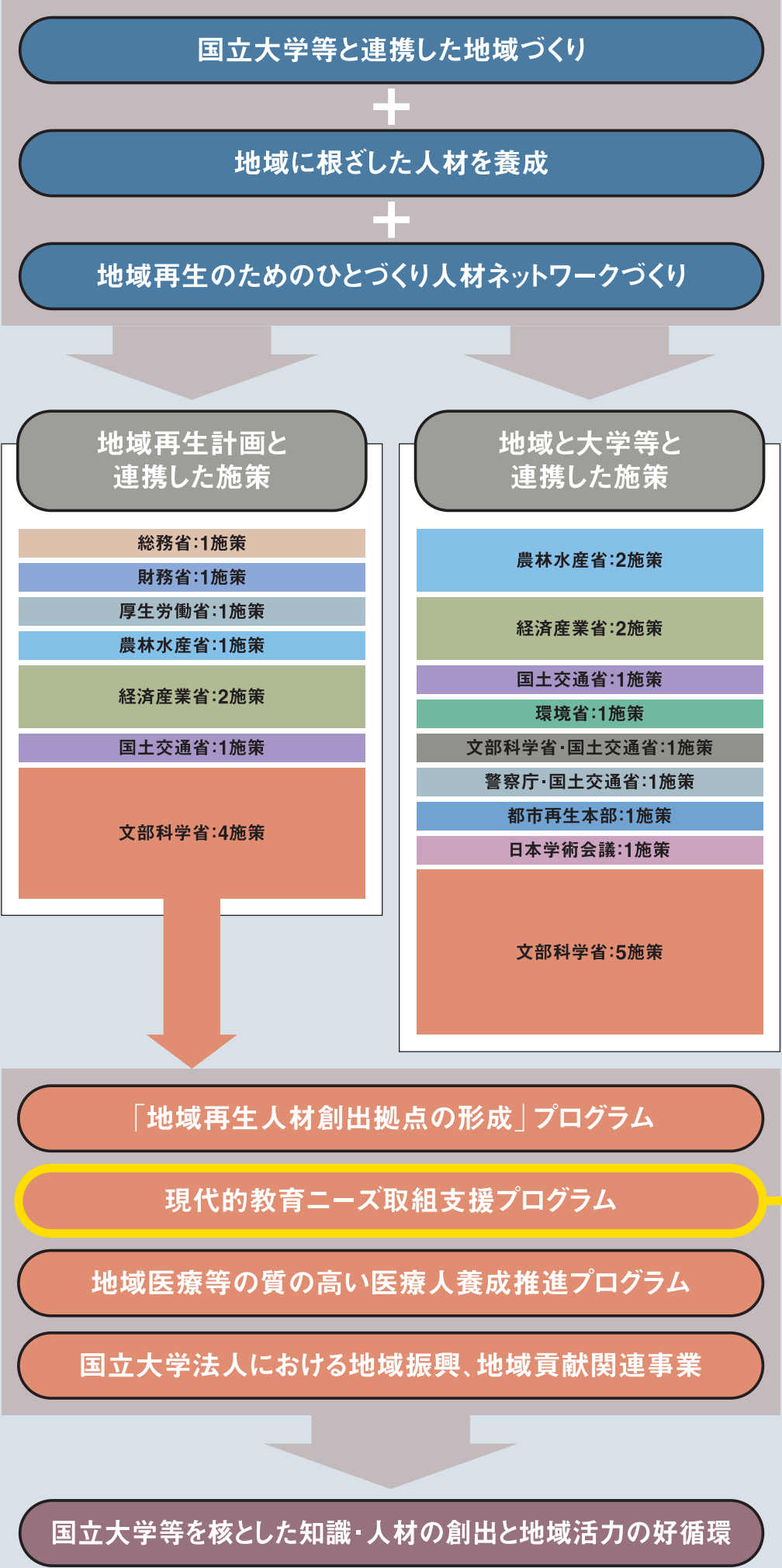
山浦麻葉さん

◆ONE POINT INFORMATION

研修・セミナー

【 政府による地域の知の 拠点再生プログラム 】

※「地域における大学は、地域にとって重要な知的・人的資源であり、地域全体の発展に一層寄与すべき」(第3期科学技術基本計画)として地域の大学による地域再生を推進する。(平成18年度～) 出典:内閣官房地域再生推進室



P.3 申請・選定状況一覧

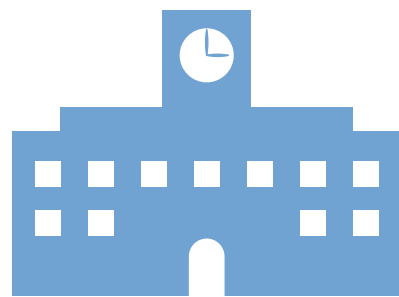
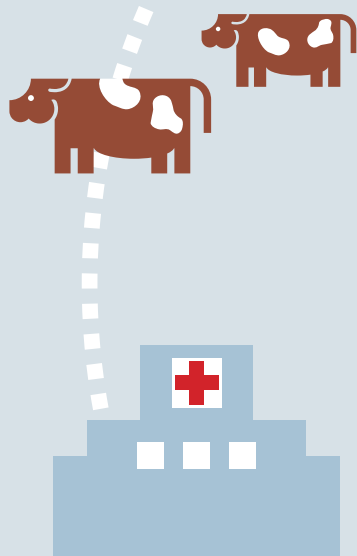
国立大学の地域貢献

地域振興・活性化に関する連携・支援

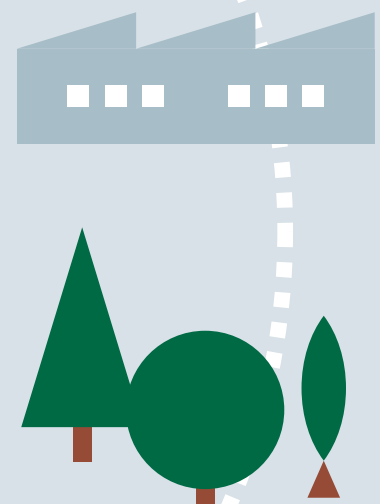
- 地元商店街との連携
- 市民団体、ボランティアとの連携
- 地元企業へのインターンシップ
- 市民参加のまちおこしの支援
- 地元営農者への技術相談
- 地元公共団体の委員会等への参画

地元住民等の教育・文化活動等への支援

- 地元の特色をテーマとする公開講座
- 地元高校への出前授業
- 小・中・高の生徒を対象にした体験学習
- 市民大学による資格取得講座
- 博物館・図書館の一般開放



国立大学



地域医療体制の充実、地元住民の安全確保等に対する協力・支援

- 僻地医師派遣
- 医療情報ネットワークの構築運用
- ドクターヘリの運用協力
- 地元公共団体との救急医療体制構築等への協力
- 災害時ボランティア活動体制への協力など

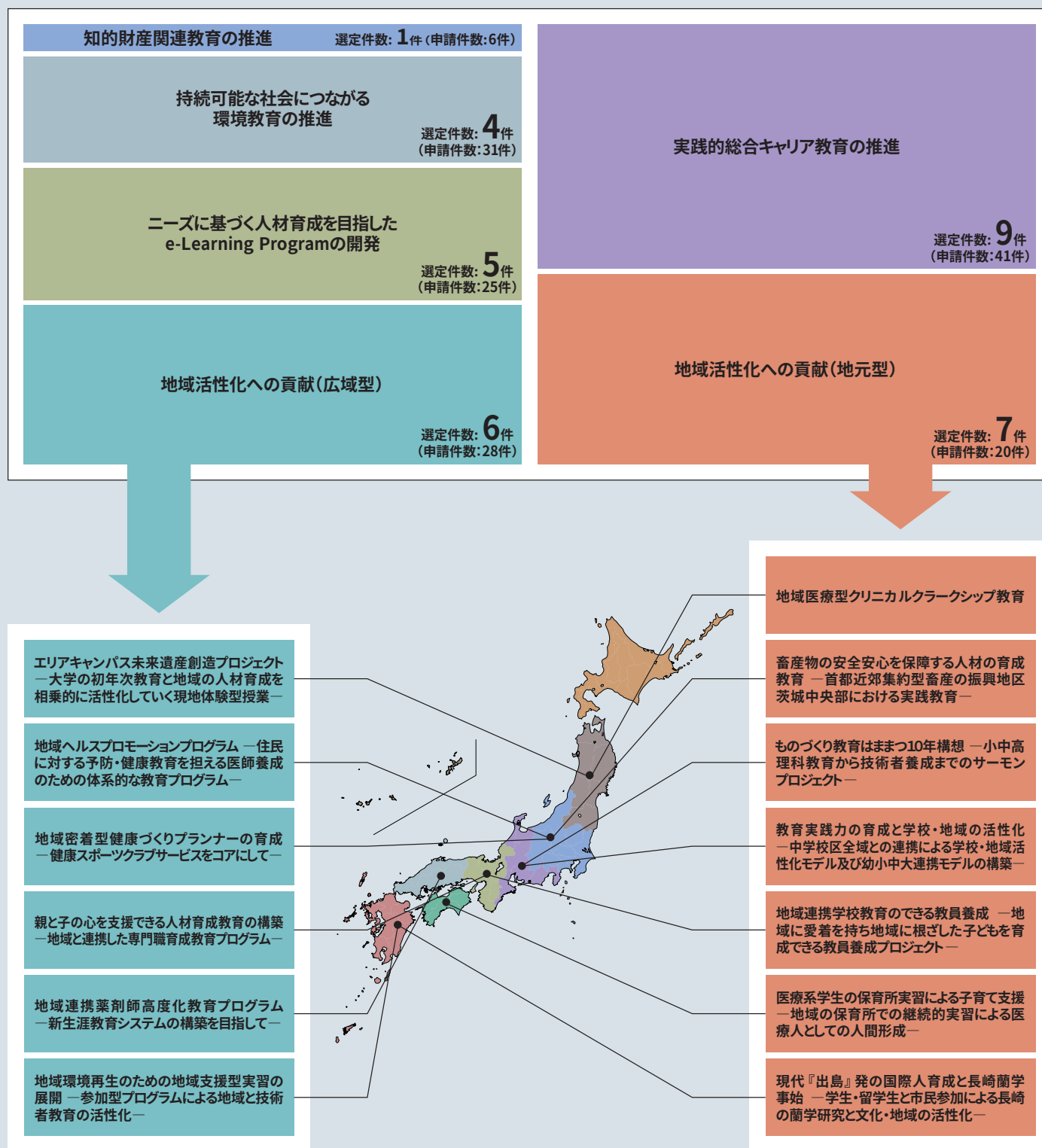
地域特有の課題の解決に向けた取り組みに対する支援

- 地元公共団体との環境問題に関する専門的取組
- 災害防止に関する支援
- 地域文化資源の発掘と展開
- 自然環境保護に関する支援
- 過疎・高齢化社会における地域公共政策支援

【 現代的教育ニーズ 取組支援プログラム 】

※各種審議会からの提言などを踏まえ、社会的要請の強い政策課題（地域活性化への貢献、知的財産関連教育など）に関するテーマを設定し、これに対して各大学、短期大学、高等専門学校が計画している取組の中から、国公私を通じて優れた取組を選び、サポートする。また、選ばれた取組を社会に広く情報提供し、高等教育全体の活性化を促す。 出典：文部科学省

● 国立大学 申請・選定状況一覧（平成18年度、単独申請）



【 小冊子「国立大学による地域貢献活動」の刊行 】

今号でご紹介してきた国立大学の地域貢献活動を小冊子にまとめます。教育・研究・診療活動などを通して行っている地域貢献活動を、わかりやすくご紹介します。（今秋刊行予定）

国立大学の第三の使命として「社会貢献」がますます重要になっています。

元文部科学大臣

遠山敦子氏

法人化3年目を迎え、大きく動きつつある国立大学

2004年4月の法人化後2年経って、3年目に入りましたが、国立大学は非常に大きな音を立てて動きつつある、あるいは大きく変わったと実感しています。法人化の最大の狙いは、それぞれの国立大学が横並びの一線ではなく、自らの大学をどうしたらよいかを自分で考えて、自らの方法論に立って実践していく、自主性、自立性を発揮していただきたい、ということでした。

特に今回の改革で大きく打ち出したのは、大学の社会的な使命です。これまでの大学は教育と研究を重視してきましたが、第三の使命として、社会に対する貢献を明確にしました。そのために産学連携、知的財産の管理・活用についての仕組みづくりなどもいろいろ試みてきましたが、それ以外にも、市民や地域の子どもに対するサービスを提供したり、地域のさまざまな課題に対して商工団体と連携して問題解決につとめるなど、社会貢献のあり方は多様です。国立大学は単に大学のためにあるだけではなく、国民や社会のために有益な存在でなければいけないわけです。



遠山 敦子 (とおやま あつこ)

東京大学法学部卒業。1962年 文部省入省、1991年 教育助成局長、1992年 高等教育局長。1994年 文化庁長官。1996年 駐トルコ共和国大使。2000年 国立西洋美術館長。2001年 (独)国立美術館理事長。2001年 文部科学大臣就任、2003年 退任。2005年 (財)新国立劇場運営財団理事長に就任、現在に至る。
著書:『こう変わる学校こう変わる大学』(講談社、2004年)『トルコ世紀のはざま』(日本放送出版協会、2001年)『現代フレッシュマン論』(東洋経済新報社、1983年)など

地域の産業・経済・文化を支える中核として

現在、国立大学は87校あって様々ですから、一概に言えないのは残念ですが、それぞれの大学が工夫をされ、地域の実情に応じてさまざまな社会貢献の取り組みが行われています。たとえば山梨大学のワイン、琉球大学の珊瑚礁の研究など、有名なものはたくさんあります。

地域の人々と連携しながら、地域にとって不可欠の産業や経済、観光、文化を進歩させていく中核になっていく——国立大学はそれができる存在です。地方にあることが決してマイナスではなく、それによって自らの役割を明確にしていくことができる。地域での人材育成と同時に、農業や環境問題など地域が抱えている様々な課題に対して、大学側が自らの知見によって積極的に貢献することが大学の存在意義を高めることにつながります。このように、地方における国立大学は、地域に貢献するだけでなく、日本を活性化する上でとても大事な役割を果たしているのです。

地域貢献が最先端の国際競争力にもつながる

20世紀は日本経済が一気に発展しましたが、今の豊かさを維持し、世界の中の位置付けを継続していくためには、科学技術や文化をもっともっと発展させていかなければならない。その牽引力になるのが大学の英知だと思います。経済の発展には活発な企業活動が不可欠ですが、それを原点で支えるという意味で、日本の発展の基礎は大学にあることを自覚していただきたい。国立大学は自分の大学の存続を目的にするのではなく、日本全体をどうしていくか。それに対してどういうふうに応えられるか。そういう視点がなければ、国立大学としての意味はないと思います。

その意味で、地方の大学が地方にだけ目を向けている時代では全くないのです。国際的に通用するようなノウハウづくりや研究成果の発表など、国際的に貢献していく道もあるわけです。すでに知識や人材の蓄積がある大学は、これからは、さらに国際的な水準を超える創造的な成果を上げていただきたいですね。国立大学という存在である以上、地域に根ざして貢献していくだけではなく、常に国際的な水準をいかに超えるかということを強く意識していただきたいと思います。そして、その時代、時代で最先端なものを創造し、それを現実の社会に還元していくことが大切です。

このような21世紀の国際的な動向とそこでの日本の役割を考えると、教育の充実と人材の育成がきわめて重要です。基礎をしっかり学んだ上で、広い視野を持つと同時に、倫理観も持った人材が求められます。専門的分野においては存分な力を発揮できるだけの知識をもつと同時に、新しい問題や困難な問題にもチャレンジする、やる気のある学生たちを育てていかなければなりません。教育・研究のレベルでも国際競争力をつけていかないと、日本の存続自体が問題になってきます。

とにかく、国立大学の大きな改革は始まったばかりですから、可能性はたくさんあると思います。大いに自信を持って、日本をリードするという勢いで改革を進めていただきたいですね。

From Hokkaido 旭川医科大学

地域医療拠点としての病院再開発事業の完了と
遠隔医療センターにおける取り組み

旭川医科大学は、北海道、特に北部・東部の広大な地域の医療を担う基幹病院として、地域の医療格差の解消と良質な医療の提供を基本に、高度先進医療に対応できる診療体制の構築と優れた医療人を育成する環境の整備を理念として掲げ、7年の歳月と総額約180億円をかけ、病院再開発整備事業をこの3月で完了しました。その結果、エスカレーターの新設、全病室におけるエアコン、トイレ・洗面台の完備など、病院を受診される方にとってより快適な環境を提供できるようになりました。

また、臓器別・系統別診療体制をスタートさせ、患者

本位の医療の充実・推進を達成する体制を整えました。

遠隔医療センターでは、国内外の医療機関とネットワークを形成し、リアルタイムでの手術指導、放射線画像診断、テレパソロジーなどを行うほか、“北海道メディカルミュージアム”としてインターネットのテレビ会議システムを介し、参加者と「病気治療の最新情報」など医療に関する情報のやり取りを行っています。また、アジアブロードバンド回線を用いた「国際遠隔医療実験」により、ハイビジョン立体動画をシンガポール共和国、タイ王国に送る実験を行うなど、医療分野における新しい画像送受信技術の確立に務めています。



岩手大学 From Tohoku

学術講演会など多彩な企画による開学記念行事の開催

岩手大学は、6月1日の開学記念日に、学術講演会、「上田の鐘」除幕式、「宮沢賢治センター」看板上掲式、開学記念園遊会の4つの記念行事を実施しました。

講演会では、『宮沢賢治と斎藤宗次郎一雨ニモマケズ物語—』と題して、国際日本文化研究センター名誉教授の山折哲雄氏が講演を行いました。

「上田の鐘」は、農学部的前身である盛岡高等農林学校で時鐘として使われていたもので、大学の学生歌にも「きけ大学の鐘の音を」と歌われており、今後、

キャンパスの中央に設置したこの鐘からは、正午に学生歌が流れます。

宮沢賢治センターは、大学の教職員、学生、卒業生、地域住民の有志が会員となり、研究情報等を集約し全国にその魅力を発信するほか、宮沢賢治学生大会や定例研究会を開催します。

園遊会では大学が日頃お世話になっている方々を招き、学生サークルの三曲部、マンドリンクラブによる演奏や茶道部による野だてなどを行いました。



From Tokyo 東京工業大学

超小型衛星Cute-1.7+APDの開発・軌道上運用
ミッション策定、開発、打上、運用を全て経験する宇宙工学の実践

東工大の学生が開発した人工衛星Cute-1.7+APDが、2006年2月に日本のM-Vロケット8号機によって、軌道上へ投入され、初期運用に成功しました。

Cute-1.7+APDは、分離機構システムとともに、東工大・機械宇宙システム専攻の松永研究室によって開発されたもので、2003年6月にロシアのロケットで打ち上げられたCUTE-IIに次ぐ2機目の衛星です。容積10×10×20cm³、質量3.6kgにも関わらず、様々なミッションを行う多機能な超小型衛星を実現でき、世界中のアマチュア無線家

100局以上から、延べ1800回以上の受信報告を受けました。この成果に対して、国際宇宙機関であるAMSATから、両衛星にOSCARの称号が付与されました。

超小型衛星は、設計、開発、運用を行う宇宙工学の実践的教育、新規宇宙技術の早期軌道上実証、低コスト・短期開発による新しい宇宙ビジネス手段として大きな分野に成長し、宇宙開発に貢献することが大いに期待されます。

詳細 <http://lss.mes.titech.ac.jp/ssp/cute1.7/>



横浜国立大学 From kanto・Koshinetsu

ノーベル平和賞受賞者、ワンガリ・マータイさんが来学!

本年2月15日(水)午後2時半頃、ノーベル平和賞受賞者、ワンガリ・マータイさんが来学され、記念植樹、学生との交流等が行われました。

鮮やかなオレンジ色の衣装を身にまとい来学されたマータイさんは、教職員、日本人及びアフリカからの留学生、附属鎌倉小学校児童、外部の方々など、200名ほどから歓迎の拍手で出迎えを受けた後、爽やかな笑顔を振りまいて挨拶されました。また、宮脇名誉教授の「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」という思想に基づ

き実施されてきた、本学キャンパス内での植樹が作り上げた「森」に驚いた様子でした。

記念植樹は、大勢の人垣ができる中、宮脇名誉教授、アフリカからの留学生、鎌小児童らとともに、手際よく、丁寧に苗木を植え込んで行われました。また、学生、児童からの質問にも丁寧に対応され、マータイさんを支えてきたという3つの言葉、「我慢」「継続」「忍耐」を紹介され、「自分自身を信じてやり続けて、やり抜いてください」と大勢の参加者の心に残るメッセージを残し、キャンパスを後にされました。



From Tokai・Hokuriku

名古屋工業大学

清流の再生を夢の技術で堀川エコロボットコンテストの開催

名古屋工業大学は、昨年に続き、名古屋堀川ライオンズクラブと共同して、「堀川エコロボットコンテスト」を8月に開催します。

このコンテストは、例えばゴミ収集ロボットや水質改善ロボットなど、名古屋市内を流れる堀川の環境を改善する能力をもつロボットづくりを競うものです。小中高校生から大学生、一般市民に参加を呼びかけています。個人でもグループでも参加することができます。ロボットづくりの技術支援、課題

解決には、名古屋工業大学が多彩な分野の最新技術でサポートします。



京都大学

From Kinki

早稲田大学と「ホワイトナイル」ビールを共同開発

本年4月、京都大学は早稲田大学と「連携協力に関する基本協定」を締結しました。尾池和夫京都大学総長から「学生や教員の個別の交流はさまざまな分野にわたっているが、これを契機にさらに連携を深めるとともに、今後いろいろと大変なことが予想される大学運営の面においても、例えば国際教養学部運営、リベラルアーツ教育、生涯教育、また財政の健全化など、早稲田大学の特色ある取り組みを学びたい」と挨拶。早稲田大学白井克彦総長から「京都大学の学問の深さを吸収し、連携分野を

拡げ関西の大学との交流を深めるきっかけにしたい」と期待が述べられました。共同ブランドビール「ホワイトナイル」は、早大の「エジプト考古学」と京大の「植物遺伝学」の研究成果を生かしたもので、古代エジプトで醸造に使われた小麦の種子を京大が提供し、製法などについては、エジプト考古学が専門の吉村作治・早大教授が協力、黄桜酒造（株）との共同研究により、約1年かけてまろやかな風味に仕上げました。瓶入り330ml（450円）で、両大学の生協などで販売され好評を博しています。



握手を交わす尾池京大総長と白井早大総長



共同開発ビール「ホワイトナイル」

From Chugoku・Shikoku

広島大学

国内屈指の大型望遠鏡を備えた、広島大学東広島天文台が完成！

広島大学の宇宙科学センター附属東広島天文台が、国立天文台や地元東広島市の全面的な協力を得て完成しました。5月26日の開所式には、大学や行政の関係者、地元住民の方々が多数出席し、国内屈指の大型望遠鏡を備えた研究拠点の完成を祝いました。東広島天文台は、広島大学東広島キャンパスから車で約15分、西条盆地が見渡せる標高約500メートルの山頂にあり、高さ14メートル直径10メートルのドーム棟と、展示コーナーやセミナー室を備えた制御棟からなります。ドーム内には、国立天文台から譲り受けた

1.5メートル光学赤外線望遠鏡（赤外シミュレーター）を設置。これは国内にある望遠鏡としては三番目の規模を誇ります。望遠鏡の愛称は、一般公募により「かなた」と命名。天文台の周囲は、地元東広島市が天文台広場として整備し、広場の開放時間帯（9時から17時半）であれば、自由にドーム棟にある見学窓から望遠鏡の様子を見学できます。今後、広島大学が開発に参加した天文衛星と連携し、大型望遠鏡ならではの利点を活かした最先端の天文学研究を推進していきます。



広島大学東広島キャンパス

天文台概観

1.5m光学赤外線望遠鏡と大杉宇宙科学センター長

東広島天文台



福岡教育大学

From Kyushu

美術彫刻作品の設置を通じて宗像市と連携した市民の憩いの空間づくり

福岡教育大学は、地元宗像市との連携事業として、平成4年度から14年間、市民の憩いの空間づくりを目的とする彫刻作品を市内に設置してきました。

彫刻作品は、釣川桜づつみ公園の19体をはじめ、市民の集う公園等4ヶ所に計25体が設置されています。これらは、福岡教育大学美術教育講座池松教授の指導のもと、学生が設置場所の風景との調和を図りながらデザインを決め、完成まで1年かけて制作してきた卒業作品です。

平成17年3月の事業終了に伴い、去る平成18年3月4日に開催された「むなかた大学のまち講演会」のオープニングイベントの中で、永年のまちづくりへの貢献を称え、池松教授に対し宗像市長から感謝状が贈られました。

また、自然豊かな宗像を彫刻鑑賞しながら、のんびりとアート散策していただけるようにと、宗像市と協力し、彫刻作品25体の設置場所、モチーフ、作者のコメント及びまちの風景等を加えた「釣川彫刻マップ―彫刻に彩られた宗像―」を製作しました。

MESSAGE OF STUDENT

学生からの
メッセージ

カーリング「チーム青森」で バンクーバー冬季五輪を目指します。

トリノ冬季オリンピックで、国内の話題を集めたカーリング女子チーム。次期オリンピックへの連続出場を目指す「チーム青森」には2人の国立大学生がメンバーとして頑張っています。

いまの大学を選んだ理由は

「青森に優れたカーリング場があるのですが、同じ県内に文系・理系の両学部が揃う総合大学として、弘前大学という魅力的な学ぶ場があったのはとても幸せでした。」(目黒)

「私の場合は、郷里の長野県内の高専から、より専門的に土木工学を学ぼうと群馬大学の3年に編入しましたが、国立大ということで安心でした。群馬は郷里に近いので、本年3月の日本カーリング選手権大会に「チーム軽井沢」でコーチとして参加しました。」(山浦)

「大学で主に英語表現コミュニケーションを勉強しています。将来は日本やカナダなどでカーリングに関係した英語を使う職業につきたいと考えています。今年はゼミも始まり、内容も専門的になってきたので、卒論執筆に向け、シーズン前にしっかり勉強を進めています。」(目黒)

「私は今、防災工学の研究室に所属しています。卒業研究は確かに忙しいですが、数値による解析が中心なので、合宿中でもパソコンを持ち込んで研究を続けています。」(山浦)

注: JABEE＝国内の主要理工系学会等によって設立された、日本技術者教育認定機構 (Japan Accreditation Board for Engineering Education)

カーリング活動と学生生活を両立させる

「私の場合、学長が理解のある方で、日本カーリング選手権大会の優勝報告に伺った際、『広辞苑』をプレゼントされ、驚いたことがありました。おそらく、勉強もスポーツもがんばれ、という意味なのだと思います。うれしかったですね」(目黒)

「群馬大学工学部はJABEE認定校のため、出席などにはとても厳しいのですが、スケジュールに配慮していただき、合宿にも安心して参加することができました。そのぶん、大学はもちろん、地域にも恩返しをしていきたいと考えています。」(山浦)

「今年に入り、弘前大学を通じて小学生向けのカーリング(床上で行うカーリング)講習会の依頼がありました。スケジュールの都合で参加できずとても残念な気持ちでしたが、今後はこうした地域活動にも積極的に参加したいですね。」(目黒)

笑顔をやさず、かざらない言葉でお話されたお二人。カーリングのトップ選手であるとともに大学生としてしっかり前を見て頑張っておられました。色紙に書かれたのは、「国立大学生、一緒にガンバろう!」というメッセージでした。

弘前大学4年

目黒萌絵さん

群馬大学4年

山浦麻葉さん



左側:目黒萌絵さん 右側:山浦麻葉さん

目黒萌絵(めぐろ・もえ) 弘前大学人文学部4年生 北海道富良野市出身 高校時代よりカーリング全日本選手権に出場。2006年のトリノオリンピックに「チーム青森」のメンバーとして出場。
山浦麻葉(やまうら・まよ) 群馬大学工学部4年生 長野県北佐久郡御代田町出身 高校・大学時代を通じカーリング全日本選手権に出場。2006年5月より「チーム青森」メンバーとして、新規加入。

ONE POINT INFORMATION

研修・セミナー 国立大学協会の平成18年度研修・セミナーは、次のとおりです。

研修・セミナー名	対象者	期間	目的	会場
国立大学法人トップセミナー	国立大学法人・大学共同利用機関法人の長	平成18年 9月 1日(金)～2日(土)	国立大学法人の最高責任者として、必要なものの見方、考え方などについて体験的に習得することを目的とする。	(財)人材開発センター 富士研修所(山梨県富士吉田市)
大学マネージメントセミナー 企画・戦略編	役員(学長を含む) 副学長・部局長、事務代表者等	平成18年10月 2日(月)～3日(火)	国立大学法人等の役員・幹部職員を対象に、大学運営全般に関わる基本的知識の取得とマネージメント能力の向上を図る。	一橋記念講堂 (学術総合センター内)
大学マネージメントセミナー 研究・教育編	役員(学長を含む) 副学長・部局長、事務代表者等	平成18年11月21日(火)(研究編) 平成18年11月22日(水)(教育編)	国立大学法人等の役員・幹部職員を対象に、大学運営のうち教育・研究に関わる基本的知識の取得とマネージメント能力の向上を図る。	一橋記念講堂 (学術総合センター内)
国立大学法人等部長級研修	部長級職員 (国大協主催部長級研修未受講者)	平成18年 7月20日(木)～21日(金)	国立大学法人等の部長級職員を対象に、大学運営の基本的知識の取得と幹部職員としての能力の向上を図る。	一橋記念講堂 (学術総合センター内)
国立大学法人等課長級研修	課長級職員 (国大協主催課長級研修未受講者)	平成18年 8月 8日(火)～9日(水)	国立大学法人等の課長級職員を対象に、大学運営の基本的知識の取得と幹部職員としての能力の向上を図る。	一橋記念講堂 (学術総合センター内)
国立大学法人総合損害保険研修会	保険実務担当者	平成18年 5月31日(水) 平成19年 1月16日(火)	国立大学法人総合損害保険に関する理解を深めるとともにリスクマネージメントに関する基本的な知識の取得を図る。	一橋記念講堂 (学術総合センター内)



社団法人 国立大学協会
The Japan Association of National Universities